

ウオダス

漁海況速報

No. 1583



発行日 平成 19 年 10 月 9 日

<http://www.applenet.jp/~aosui/>

発行 青森県水産総合研究センター

TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778

住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸 384-37

10月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
7	①	2	3	4	5	6
14	8	⑨	10	⑪	12	13
21	15	⑬	17	18	19	20
28	22	23	24	25	⑳	27
	29	30	31			

○対馬暖流域の表層水温は、“やや高め”で経過する

(平成 19 年度第 3 回日本海海況予報)

○ヒラメ稚魚の分布密度は昨年より高め

小泊 (9月26~30日)

スルメイカ	一本釣	19隻	8,475kg
ウスメバル	一本釣	31隻	498kg
マダゴ	延縄	9隻	1,102kg

(10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	74隻	35,440kg
ウスメバル	一本釣	104隻	2,083kg
マダゴ	延縄	71隻	5,833kg

下前 (9月26~30日)

スルメイカ	一本釣	18隻	6,225kg
ウスメバル	一本釣	16隻	432kg
マダゴ	延縄	2隻	152kg
マダ	イ一本釣	9隻	5,512kg
ブ	リ一本釣	1隻	17kg

(10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	45隻	18,895kg
ウスメバル	一本釣	13隻	335kg
マダゴ	延縄	4隻	333kg
マダ	イ一本釣	13隻	89kg

深浦 (9月16~20日)

スルメイカ	一本釣	1隻	1,765kg
(2,160kg)	底曳網	9隻	395kg
ウスメバル	一本釣	4隻	30kg
ヤリイカ	底曳網	9隻	2,382kg

(9月21~25日)

スルメイカ	底曳網	9隻	530kg
ウスメバル	一本釣	7隻	201kg
ヤリイカ	底曳網	6隻	2,319kg

(9月26~31日)

スルメイカ	底曳網	6隻	840kg
ウスメバル	一本釣	138隻	138kg
ヤリイカ	底曳網	9隻	2,673kg
フクラゲ	定置網	2隻	785kg
マダゴ	一本釣	7隻	67kg
マダ	ラ一本釣	7隻	45kg

(10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	20隻	12,130kg
(12,395kg)	底曳網	6隻	265kg
ウスメバル	一本釣	7隻	159kg
ヤリイカ	底曳網	3隻	468kg
ブ	リ定置網	2隻	110kg
マダ	イ定置網	2隻	140kg
マダ	ゴ一本釣	7隻	21kg

三厩 (10月1~5日)

マダゴ	一本釣	87隻	6,350kg
-----	-----	-----	---------

鰺ヶ沢 (10月1~5日)

マダ	イ延縄	4隻	58kg
(228kg)	一本釣	9隻	83kg
	刺網	6隻	14kg
	定置網	1隻	2kg
	底曳網	2隻	71kg
イナ	ダ一本釣	1隻	4kg
サ	ケ定置網	12隻	862kg
ウスメバル	一本釣	4隻	34kg
(34kg)	底曳網	1隻	0.4kg
マサ	バ底曳網	1隻	6kg
スルメイカ	底曳網	4隻	860kg
ヤリイカ	底曳網	5隻	1,288kg

沢辺 (10月1~5日)

メ	ジ延縄	1隻	10kg
サ	ケ定置網	1隻	10kg
マダ	イ定置網	1隻	1kg

大戸瀬 (10月1~5日)

マダゴ	一本釣	9隻	80kg
(174kg)	定置網	24隻	93kg
	刺網	2隻	0.5kg
ブ	リ一本釣	4隻	297kg
(517kg)	定置網	37隻	220kg
サ	ケ定置網	71隻	685kg
(696kg)	一本釣	1隻	11kg
ヤリイカ	定置網	2隻	0.4kg

尻労 (10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	17隻	1,910kg
(7,910kg)	定置網	4隻	6,000kg
サ	ケ定置網	15隻	1,107kg
ワ	ラサ定置網	7隻	331kg
イ	ナダ定置網	15隻	6,695kg

佐井 (9月26~30日)

ブ	リ定置網	2隻	61kg
サ	ケ定置網	3隻	26kg
(28kg)	底建網	1隻	3kg
マダ	イ定置網	4隻	41kg
(197kg)	底建網	1隻	6kg
	一本釣	17隻	150kg

大畑 (9月26~30日)

スルメイカ	一本釣	79隻	57,610kg
ヤリイカ	定置網	3隻	22kg
(711kg)	リ定置網	12隻	708kg
	一本釣	1隻	3kg
マサ	バ定置網	6隻	859kg
(909kg)	一本釣	2隻	50kg
マダ	ゴ定置網	1隻	50.0kg
(193kg)	延縄	2隻	143kg
サ	ケ定置網	12隻	939kg
マダ	イ定置網	4隻	7kg

(10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	142隻	100,800kg
(100,860kg)	定置網	2隻	60kg
ヤリイカ	定置網	6隻	21kg
(27kg)	底立網	4隻	6kg
ブ	リ定置網	15隻	633kg
(695kg)	一本釣	3隻	61kg
マサ	バ定置網	4隻	101kg
マダ	イ定置網	7隻	8kg
(26kg)	底立網	5隻	15kg
	籠	1隻	3kg
マダ	ゴ延縄	5隻	620kg
サ	ケ定置網	15隻	3,025kg
ウスメバル	一本釣	3隻	72kg

八戸 (10月1~5日)

スルメイカ	一本釣	342隻	288,097kg
マサ	バまき網	41隻	4,621,889kg
サ	ケ他定置網	38隻	80,963kg

主要魚種の動き

○スルメイカ (全漁法・10月1~5日)

(津軽海峡)	今回	前回は	漁期累計(5月~)	昨年同期累計比
大畑	100,800kg	204%	1,397,395kg	269%
(太平洋)				
八戸	288,097kg	142%	5,183,117kg	794%

○ウスメバル (全漁法・10月1~5日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(4月~)	昨年同期累計比
小泊	2,083kg	418%	99,750kg	83%

○クロマダゴ (全漁法・10月1~5日)

(津軽海峡)	今回	前回は	漁期累計(5月~)	昨年同期累計比
小泊	5,833kg	529%	51,665kg	87%
(津軽海峡)				
三厩	6,350kg	148%	55,504kg	109%

大戸瀬沖の平均水温 (ブイのデータ : °C)

	1m層	10m層	20m層
10月1~5日	22.67	22.65	23.03
前回差	-0.71	-0.82	-0.51
前年差	-3.45	-2.69	-2.10

◎大型クラゲ出現情報

10月6日までの情報では、石川県加賀で定置に250個入網、北海道の釜底建網で80個以上の入網があり、これは沖合を通過して北上した群と思われるが、北海道西沖は分布状況が不明であるとのこと。

また宮城の金華山でも出現があったとの報告がありました。京都の定置網では2日間で合計1000個体の入網があり、島根県では定置に3000個体を超える入網があったとのこと。

本県での9月24日から10月3日までの出現状況は以下のとおりです。

海域	漁業種類	統数	個体数 (1網あたり)	傘径 (cm)
日本海	定置網	7	5~20	50~100
	刺網	1	1	80
津軽海峡	定置網	2	1~2	60
	底建網	27	1~2	60~100
太平洋	定置網	15	1~20	40~100

(資料 : (社) 漁業情報サービスセンター <http://www.jafic.or.jp/> kurage)

沿岸各地の水温

日本海 21 ~ 22 台
陸奥湾 21 台
津軽海峡 20 ~ 21 台
太平洋 19 ~ 20 台

今回は尻労、泊、八戸を除く各地で降温し、平均前回差は-0.4度となりました。

昨年と比べると、日本海側で+1.5度、津軽海峡側で+0.5、陸奥湾内で+0.9度、太平洋側で+0.8度となっており、平均昨年差は+0.9度となっています。

平年と比べると、日本海でかなり高め、その他海域ではやや高めとなっており、平均平年差は+1.0度となっています。

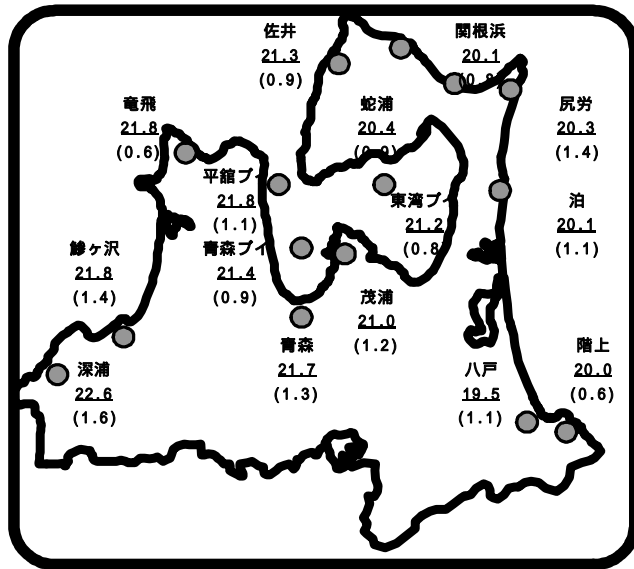
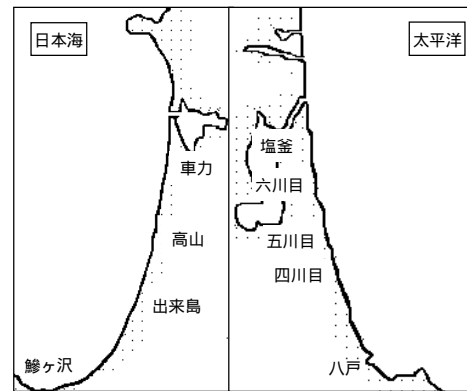


図 定地水温 (10月1~5日)
平均値 (平年差) ブイ 1 m

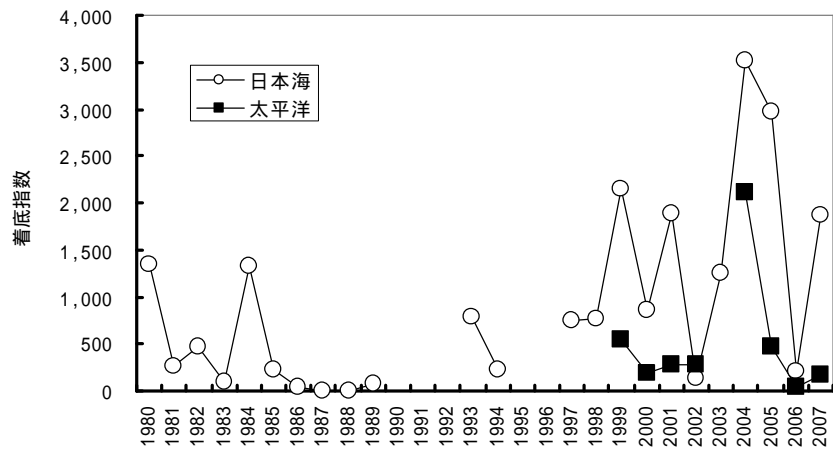
	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	22.6	+1.6	+1.5	-0.5
鯨ヶ沢	21.8	+1.4	+1.5	-1.0
竜飛	21.8	+0.6	+0.2	-1.0
佐井	21.3	+0.9	+1.1	-0.3
青森	21.7	+1.3	+1.0	-0.1
蛇浦	20.4	+0.9	+0.1	-0.4
関根浜	20.1	+0.8	+0.6	-1.1
尻労	20.3	+1.4	+1.1	+0.0
泊	20.1	+1.1	-0.0	+0.0
八戸	19.5	+1.1	+1.2	+0.0
階上	20.0	+0.6	+0.9	-0.2
茂浦	21.0	+1.2	+1.1	-0.5
平館ブイ	21.8	+1.1	+0.8	-0.5
青森ブイ	21.4	+0.9	+1.1	-0.2
東湾ブイ	21.2	+0.8	+0.7	-0.3
平均	21.0	+1.0	+0.9	-0.4



ヒラメ稚魚分布密度調査結果

青森県水産総合研究センターでは天然ヒラメの稚魚分布密度調査を日本海で1980年から、太平洋で1999年から行っています。今年も7月から9月にかけて桁網(水工研型)を用いて日本海のつがる市沖8点、太平洋の三沢市沖8点で調査を行い、採取結果を基に桁網効率を0.28として1ha当りの尾数(着底指数)を算出し下図に示しました。今年のヒラメの着底指数は日本海、太平洋とも昨年より高く、日本海ではこれまでの結果と比較すると高水準でした。ヒラメは35cmになるのに2年かかるので、小型魚の保護に努めましょう。

	日本海	太平洋
調査月日	7/18, 8/14, 9/10	7/24, 8/29, 9/14
調査水深	5m, 10m	
曳網時間	原則として10分	



平成19年度第3回日本海海況予報

(今後の見通し 2007年10月~12月)

- (独)水産総合研究センター日本海区水産研究所は10月3日、関係機関の情報をとりまとめ下記の予報を発表しました。
- (1) 隠岐諸島北方及び丹後半島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。佐渡島北西及び佐渡島北方の暖水域は、北東に移動する。津軽半島西方の暖水域は、消滅する。
 - (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、平年並み。山陰・若狭沖及び入道崎沖の冷水域の張り出しは、弱い。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。
 - (3) 対馬暖流域の表面水温は、"やや高め"で経過する。
 - (4) 対馬暖流の50m深水温は、日本海西部は"平年並み"、北部は"やや高め"で経過する。

太平洋の海況 (10月4~7日)

概況; 沿岸水温は19~20台

太平洋沿岸域の表面水温

19~20台で前回と比べ若干降温しています。前年同期と比べ1度ほど高い水温となっています。

津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

20等温線でみると東経143度付近までで、張り出しは前回と変わっていません。

親潮系冷水の南下

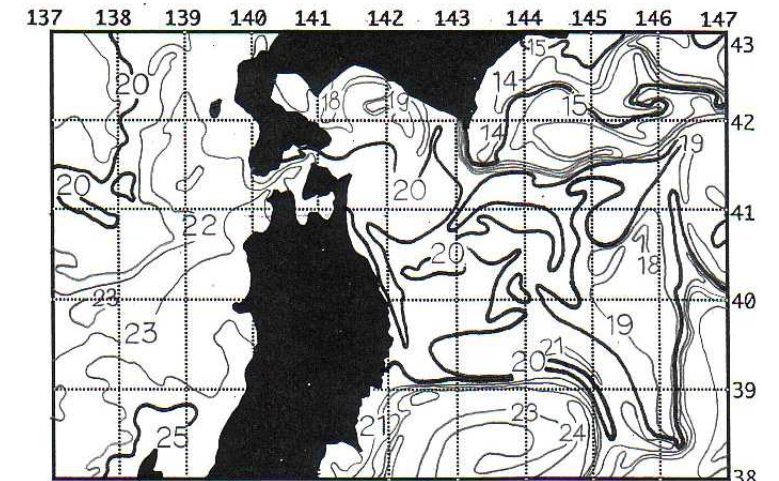
19等温線でみると北緯41度30分付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

日本海の家況 (10月4~7日)

概況; 沿岸水温は22~23台

日本海沿岸域の表面水温

22~23台で前回と比べ若干降温しています。前年同期と比べ1~2度高い水温となっています。



資料:(社)漁業情報サービスセンター

北部太平洋海況情報 第54号 10月8日